

## 田代岳「欧州の視点で読み解くマーケット」 更新日：4月20日



米系のシティバンク、英系のスタンダード・チャータード銀行と外資系銀行にて、20年以上、外国為替ディーラーとして活躍。その後、独立し現在は投資情報配信を主業務とする株式会社 ADVANCE 代表取締役。

ポンドの上昇は頭打ちか？

英国政府と EU は 3 月 19 日にブレグジット後の移行期間で合意しました。2 月に 1.37 台の安値を示現したポンドドルは、このニュースを受けて上昇が加速しました。ブレグジットに対する懸念から金融政策も次ぎの利上げが 2020 年頃にずれ込むとの思惑もありましたが、それが前倒しされるのではとの思惑がポンドのサポート材料になりました。

ただ英国の未来は、ばら色というわけではありません。EU のスタンスはよいとこ取りは許さないという方針です。

英国は EU 離脱後に 2 年間は現状維持で EU にとどまることができます。単一市場と関税同盟に留まれる代わりに EU の法体系を順守、EU の意思決定システムには原則参加できません。移民の受け入れも従来どおり。支払わない方針であった離脱金も支払うこととなり、しかも EU の言い値に近い水準です。

将来の協定のパターンは可能性が高いものは、1、合意ができずに WTO の最低基準で合意する。

2、カナダと同様の FTA 方式。いずれにせよ英 GDP に対しては減速となります。

とはいえ英国経済は好調です。ドイツをはじめ好調な欧州経済の影響を受けて英国の経済も安定的に推移し、2 月の失業率は 4.2% と 1974 年以來の低水準です。好調な経済とポンド安による輸入物価の上昇を受けて CPI は一時 3% に達したことで BOE は 2017 年 11 月に政策金利を 0.25% 引き上げて 0.5% としました。

ポンドドルは 4 月 17 日に 1.4374 の高値を示現しましたが、18 日に急落しました。3 月の英 CPI は前月比 0.1%、前年比 2.5% とそれぞれ予想の 0.3%、2.7% を下回りました。

コア CPI は前月比 0.2%、前年比 2.3% とそれぞれ予想の 0.4%、2.7% を下回りました。

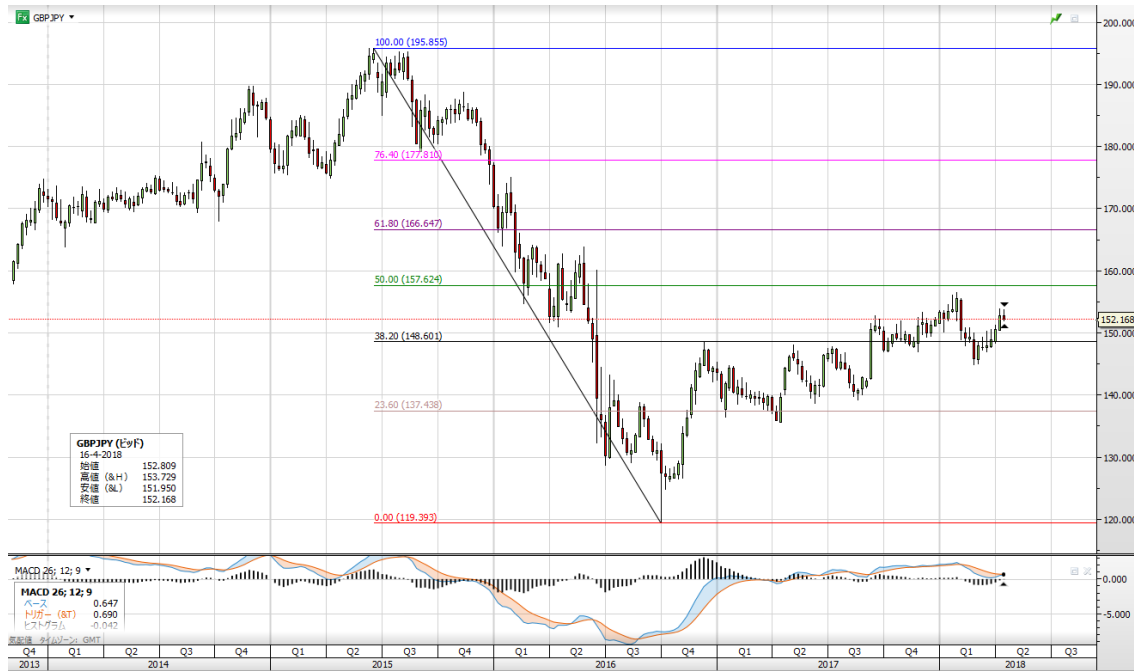
インフレ率の低下がポンドドルの下落を促しました。

IMM の通貨先物のポンドのポジションは BOE の利上げの 2017 年 11 月以降差し引きロングとなり先週は 43016 枚のロングになっています。

チャートはポンドドルの週足ですが、2014 年 7 月の高値 1.7191 ~ 2016 年 10 月の安値 1.1498 の 50% 戻しが 1.4345 付近となり、このレベルが中期的なレジスタンスとして機能しています。

ここを上抜けすると 61.8% 戻しが 1.5016 となり、ブレグジット時の戻り高値のレベルです。

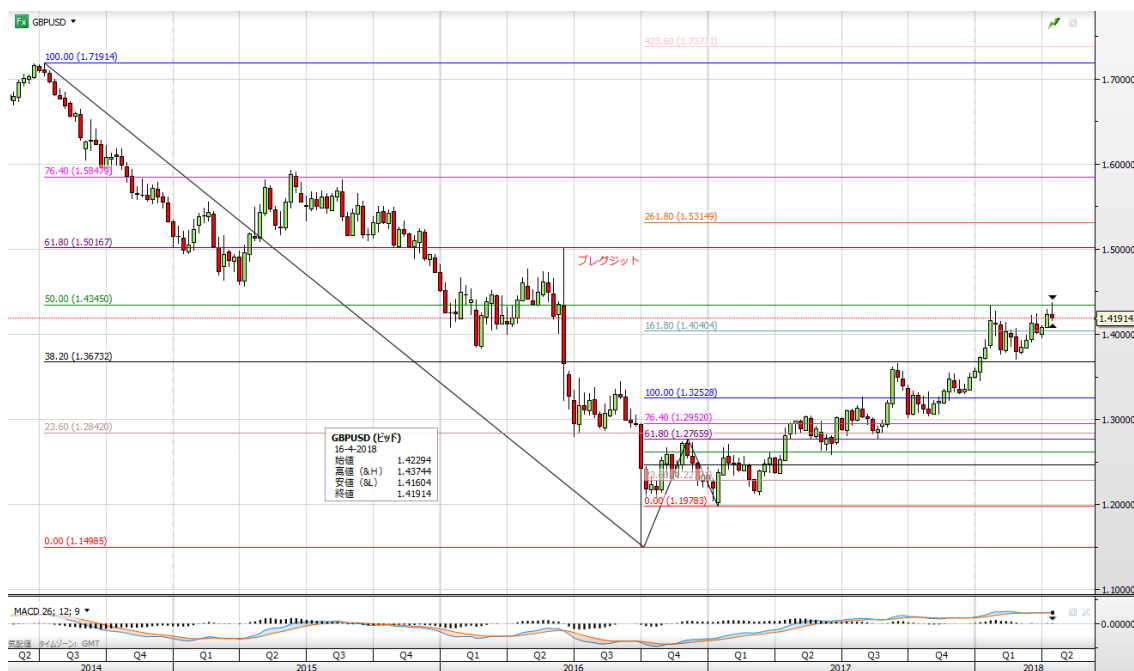
### ポンドドル週足



ポンド円も 2015 年 6 月の高値 195.85~2016 年 10 月の安値 119.39 の 50%戻しが 157.62 となりレジスタンスになっています。

ポンドドル、ポンド円ともここ数年の高値安値の半値が超えられるかどうかのポイントになりそうです。

### ポンド円週足



### SAXOBANK ポンドポジション



SAXOBANK のポンドのポジションは上のチャートのように短期的にはショートに傾いています。

### 【本レポートについてのご注意】

■本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。

■本レポートは、作成時点において執筆者およびサクソバンク証券（以下「当社」といいます。）が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、執筆者および当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。

■本レポート内で示される意見は執筆者によるものであり、当社の考えを反映するものではありません。また、これらはいくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。

■お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行われるべきです。本レポートの利用はあくまでも参考としてご利用ください。執筆者および当社は